

平成21年度第1四半期における運用状況等

(平成21年4月～6月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っており、法令に基づき策定しました「独立行政法人農業者年金基金中期計画」において、四半期ごとに運用に関する情報を、本資料をもってホームページで公表することとしております。

なお、毎年6月末日までに被保険者等の皆様に送付させて頂いております「運用（付利）結果のお知らせ」の基礎となります前年度の運用成績につきましては、毎年度の末日における運用収入の額が基準となります。

当基金が行っています年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになる年やマイナスになる年がありますが、長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思っておりますので、皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（平成20年3月31日認可）－抜粋－

2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公開するとともに、加入者に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の加入者に係る運用結果を通知する。

目 次

	頁
1. 平成21年度第1四半期（平成21年4月～6月）における運用環境について・・・・・・・・・・	1
2. 平成21年度第1四半期（平成21年4月～6月）のポートフォリオ別の運用状況・・・・・・・・	2
3. ベンチマーク・インデックスの推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
参考：用語の説明・・	5

1. 平成21年度第1四半期（平成21年4月～6月）における運用環境について

○国内外の金融・経済情勢について

（4月）

国内外の株式市場は、景気指標の改善（＝悪化ペースの鈍化）が見られたことや、米国企業の予想を上回る好決算発表が相次いだことなどから、世界的に株価が上昇傾向となり、月末ベースでは2ヶ月連続での上昇となりました。一方、債券市場は、各国政府の追加経済対策による国債増発懸念を嫌気した売りが優勢になったこともあり、債券価格は下落（金利は上昇）傾向となりました。

（5月）

米大手銀行のストレステスト（健全性審査）の結果発表を終え、米金融システムに対する不安が後退したことや、経済指標の一部改善などを受けて、景気の底入れ期待感などを背景に、世界的に株価が上昇傾向となりました。月末には、日経平均株価は約7ヶ月ぶりに9,500円台、NYダウは約5ヶ月ぶりに8,500ドル台を回復しました。為替市場は、米国における財政赤字拡大に伴う国債増発に対する懸念などから世界的にドル安が進む展開となり、円はドルに対し円高になる一方、ユーロに対しては円安となりました。

（6月）

月初めは、米自動車メーカー大手が連邦破産法第11条の適用を申請しましたが、市場の反応は限定的で大きな混乱がなかった上、米経済指標の改善が確認されたことなどから、世界的に株価は大きく上昇し、日経平均株価は6月12日に約8ヶ月ぶりに1万円台を回復しました。下旬にかけては、世界銀行が世界経済の成長率予想を下方修正したことや一部の経済指標が予想を下回ったことなどにより、景気の回復懸念が強まり、株価は不安定な動きとなりました。

（注）資産毎の「ベンチマーク・インデックスの推移」を4ページに掲載しておりますので、ご参照下さい。

2. 平成21年度第1四半期(平成21年4月～6月)のポートフォリオ別の運用状況

①被保険者ポートフォリオ

平成21年度第1四半期(平成21年4月～6月)における被保険者及び待期者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成21年6月末の時価総額は1,199億89百万円となり、第1四半期総合収益は52億円となりました。また、修正総合利回りは4.59%となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	平成20年度末 時価総額 ①	第1四半期保険料・ 国庫補助投下額②	計 ③(①+②)	平成21年6月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第1四半期総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	81,805	421	82,226	82,629	68.9	403	0.49
国内株式	13,891	-165	13,726	16,465	13.7	2,739	19.72
外国債券	5,568	652	6,220	6,304	5.3	84	1.50
外国株式	10,778	1,686	12,464	14,442	12.0	1,978	16.75
短期資産	170	-16	154	149	0.1	-5	-2.07
合 計	112,212	2,578	114,790	119,989	100.0	5,200	4.59

- (注) 1. 「第1四半期保険料・国庫補助投下額②」では、受給権者ポートフォリオ等への繰入額が除かれています。
 2. 有価証券の保管手数料及び外貨流動性預金に係る為替差損益等は、短期資産で整理しています。
 3. 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります(以下同じ)。

②被保険者危険準備金ポートフォリオ

平成21年度第1四半期(平成21年4月～6月)における被保険者及び待期者に係る付利準備金及び調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。
(単位:千円、%)

区 分	資 産	平成20年度末 時価総額 ①	第1四半期繰入額②	計 ③(①+②)	平成21年6月末 時価総額 ④	第1四半期総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
付利準備金	短期資産	66	117	183	183	0	0.01
調整準備金	短期資産	452,432	-2,185	450,247	450,684	437	0.10
合 計		452,498	-2,068	450,430	450,867	437	0.10

(注)「第1四半期繰入額②」では、被保険者ポートフォリオからの受入額が含まれ、受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入額が除かれています。

③受給権者ポートフォリオ

平成21年度第1四半期(平成21年4月～6月)における受給権者に係る資産の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

資 産	平成20年度末 時価総額 ①	第1四半期繰入額 ②	計 ③(①+②)	平成21年6月末 時価総額 ④	第1四半期総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	2,715,588	433,095	3,148,684	3,157,076	8,392	0.30
短期資産	65,695	31,011	96,707	96,719	12	0.01
合 計	2,781,284	464,106	3,245,390	3,253,795	8,405	0.29

(注)「第1四半期繰入額②」では、被保険者ポートフォリオからの受入額が含まれています。

④受給権者危険準備金ポートフォリオ

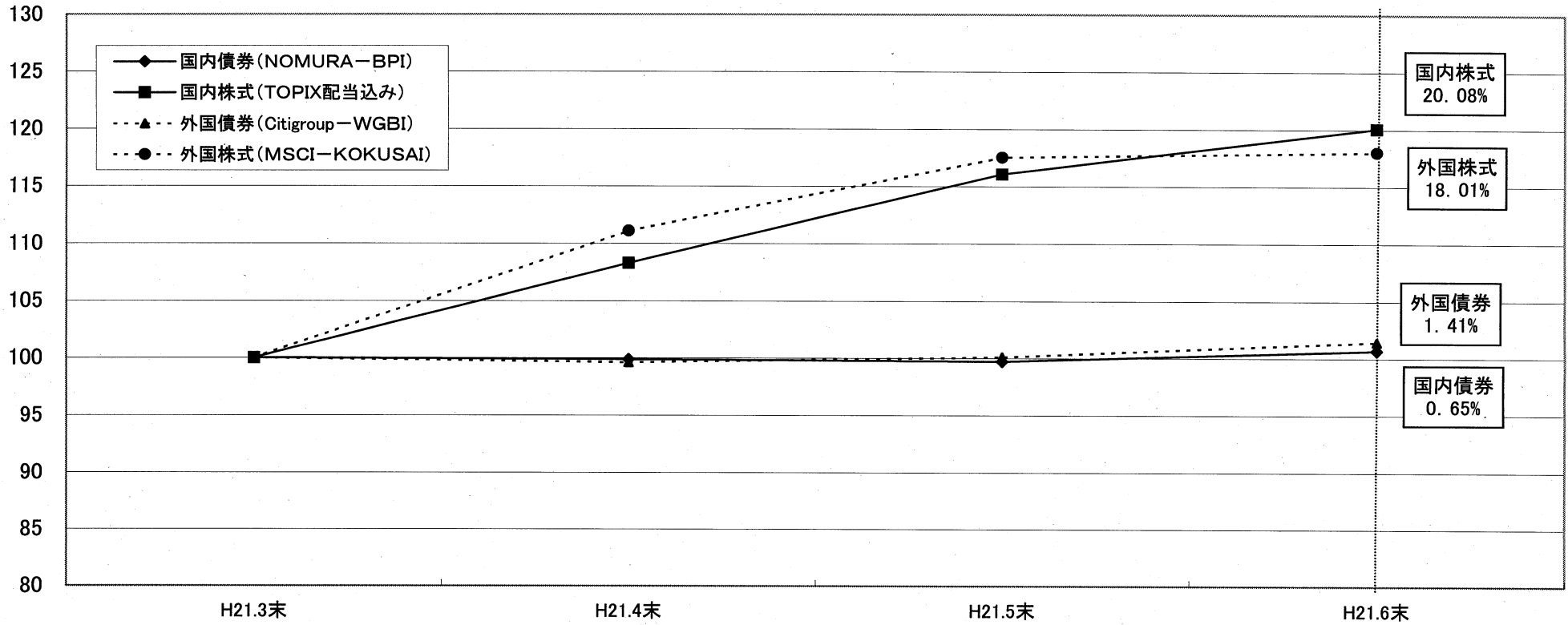
平成21年度第1四半期(平成21年4月～6月)における受給権者に係る調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

区 分	資 産	平成20年度末 時価総額 ①	第1四半期繰入額②	計 ③(①+②)	平成21年6月末 時価総額 ④	第1四半期総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
調整準備金	短期資産	267,039	14,233	281,271	281,486	215	0.09

(注)「第1四半期繰入額②」では、被保険者ポートフォリオ等からの受入額が含まれています。

3. ベンチマーク・インデックスの推移 (H21.3末=100)



○運用環境

	平成21年3月末	平成21年6月末
国内債券(新発10年国債利回り)	1.342 %	1.350 %
(NOMURA-BPI総合)	316.237 ポイント	318.284 ポイント
国内株式(日経225)	8,109.53 円	9,958.44 円
(TOPIX配当込)	945.72 ポイント	1,135.59 ポイント
外国債券(米国10年国債利回り)	2.665 %	3.535 %
(Citigroup-WGBI)	313.82 ポイント	318.25 ポイント
外国株式(NYダウ)	7,608.92 ドル	8,447.00 ドル
(MSCI-KOKUSAI)	804.538 ポイント	949.400 ポイント
為替レート(対ドル)	98.77 円	96.49 円
(対ユーロ)	131.14 円	135.33 円

用語の説明

○ ポートフォリオ

性質が同じ資金をまとめて運用するための運用単位のこと(同義語 ファンド)。

○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

○ 修正総合利回り

総合収益を運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

○ ベンチマーク・インデックス

各資産を代表する銘柄から構成される指標のこと。それぞれの資産を運用する基準として、基金が採用しているものである。

* NOMURA-BPI総合

野村証券金融経済研究所が作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付債から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

* Citigroup-WGBI(日本を除く)

シティグループが作成している外国債券市場の指標。主要先進国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

* MSCI-KOKUSAI(配当込)

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。